

平成30年度 岡山学芸館高等学校 選抜1期入試【2月1日】 解答解説（英語）

1 聞き取り検査では、会話を聞いて絵を選ぶ問題、メモを完成させる問題、短めの会話について質問に答える問題、英文を聞いて流れを把握し、コメントを完成させたり、内容に合わない絵を選択したりする問題の5つの形式の問題が出題されています。

問題A 【正解】(1) ウ (2) エ
【解説】

(1) Man : I hear you are going to go to Kyoto for a school trip next week. / Woman : That's right. I want to take many pictures of traditional Japanese buildings with this.

(訳) 男性：来週、修学旅行で京都に行く予定なんだったね。／女性：そのとおりよ。私はこれでたくさんの伝統的な日本の建物の写真を撮りたいわ。

(2) Man : Look. I bought a birthday present for my sister. / Woman : That's nice. She will wear it when it's sunny and hot.

(訳) 男性：見て。姉[妹]のために誕生日プレゼントを買ったんだ。／女性：それはすてきね。彼女は晴れて暑いときにそれを身につけるでしょう。

問題B 【正解】(あ) famous (い) cultures
【解説】

Today, I want to tell you about the music festival in our city. Next Sunday, our city is going to have a big music festival at City Hall. A lot of famous musicians from all over the world will play many kinds of music. You can also listen to some speeches about the cultures of foreign countries. Let's go to the festival and enjoy it.

(訳) 今日、私は私たちの市の音楽祭について話したいと思います。次の日曜日、私たちの市では、市役所で大きな音楽祭があります。世界中から有名な音楽家がたくさんやって来て、多くの種類の音楽を演奏します。また、外国の文化についてのスピーチも聞くことができます。音楽祭に行ってみましょう。

問題C 【正解】(1) エ (2) イ
【解説】

(1) A : What are you going to do next Saturday, Mark ? / B : I'm going to watch a baseball game with my father. How about you, Lucy ? / A : I'm going to have dinner with my friends. / B : That sounds nice. / Question : What is Lucy going to do on Saturday ?

(訳) A : 今度の土曜日は何をする予定なの、マーク？ / B : 父と一緒に野球の試合を見る予定なんだ。きみはどうなの、ルーシー？ / A : 私は友達と夕食を食べる予定よ。 / B : それはいいね。 / 質問 : ルーシーは土曜日に何をする予定ですか。

(2) A : Did you study English last night, Ken ? / B : Yes, Mom. I studied math too. But I didn't study science. / A : When are you going to study it ? / B : I'm going to study it this evening. / Question : What subject is Ken going to study this evening ?

(訳) A : 昨日の夜は英語を勉強したかしら、ケン？ / B : うん、お母さん。ぼくは数学も勉強したよ。でも、理科は勉強しなかったんだ。 / A : あなたはいつそれを勉強するつもりなの？ / B : 今晚それを勉強するつもりだよ。 / 質問 : ケンは今晚、何の教科を勉強するつもりですか。

問題D 【正解】① (あ) summer (い) way (う) fun ② ア
【解説】

This summer, I joined an English camp at the city sports center. A lot of foreign students joined it. We had to speak only English in the camp. On the first day, we enjoyed playing some sports with the foreign students. Our group played basketball. I could say only a few words in English in the game. I was sad. On the second day, we made dinner with the foreign students. Our group made curry. I showed the foreign students in my group how to cook it. My English was not good, but they tried to understand me. I was happy. After dinner, we enjoyed singing English songs together. I thought speaking English was a lot of fun.

(訳) 今年の夏、私は市のスポーツセンターでの英語合宿に参加しました。それにはたくさんの外国人の生徒たちが参加しました。合宿では英語だけで話さなければなりませんでした。1日目に、私たちはその外国人の生徒たちといくつかスポーツをして楽しみました。私たちのグループはバスケットボールをしました。私は試合中、2～3語しか英語で言うことができませんでした。私は悲しかったです。2日目に、私たちは外国人の生徒たちと一緒に夕食を作りました。私たちのグループはカレーを作りました。私は自分のグループの外国人の生徒たちにその作り方を教えました。私の英語は上手ではありませんでしたが、彼らは私を理解しようとしてくれました。私はうれしかったです。夕食後、私たちは一緒に英語の歌を歌って楽しみました。私は英語を話すことはとても楽しいと思いました。

(コメント) ミカは今年の(あ)夏、よい経験をしました。彼女は英語合宿に参加しました。彼女は日本語を話さずにたくさんの外国人の生徒たちと2日過ごしました。彼女は上手に英語を話すことができませんでした。一生懸命に努力し、彼女のグループの外国人の生徒たちにカレーライスを作る(い)方法を説明することができました。ぼくは英語を話すことは簡単だと思いませんが、彼女はそれはとても(う)楽しいと言います。ぼくはもっと一生懸命に英語を勉強するつもりです。ぼくはミカのようにそれを上手に話したいです。

2 資料活用の問題です。グラフと照らし合わせながら英文を読み、必要な情報を読み取る力が求められます。会話文の内容から適当な語を選んだり、適当な語句を考える問題などで構成されています。

【正解】① (あ) イ (い) オ ② books teach[show / tell] ③ plans[ideas]
【全訳】

ヨシオ：こんにちは、ベス。きみは本を読むことが好きかい？

ベス：ええ、大好きよ。私はよく市の図書館に行って、そこで本を読むわ。

ヨシオ：それはよかった。グラフ1を見て。これは学校の図書委員会がぼくたちの学校の生徒全員にした質問なんだ。このグラフは生徒の13%が読書が大好きで、(あ)26%が少し好きだということを示しているよ。

ベス：生徒の(い)61%が読書が好きではないのね？

ヨシオ：そのとおり。もう1つの質問は「あなたはなぜ本を読むのですか。」だったんだ。グラフ2を見て。生徒の65%が「とてもおもしろいから」と答えたんだ。生徒の約50%は新しいことを(う)本は教えてくれると考えているね。彼らの約40%は「友達が読書が好きだから」と答えたんだ。ぼくはこの答えがとても重要だと思うんだ。

ベス：なぜ？

ヨシオ：彼らは友達と本について話をしたいということだよ。もしぼくたちが彼らにおもしろいものを見せることができれば、彼らは読書にもっと興味を持つようになるよ。

ベス：それをする(え)計画が何かあるの？

ヨシオ：うん。ぼくたちは図書館だよりを作って、毎月どんな種類の本が人気なのかを見せる予定なんだ。

ベス：なるほど。私はますます多くの生徒たちが読書を好きになればいいと思うわ。

【解説】
① (あ) あとに like it a little とあるので、「読書が少し好きだ」と答えた生徒の割合が入る。グラフ1より、イの26%が入る。(い) あとに don't like reading books とあるので、「読書が好きではない」と答えた生徒の割合が入る。グラフ1より、Not so much. 「それほど好きではない。」が45%で、Not at all. 「まったく好きではない。」が16%とわかる。よってオの61%を入れる。
② 文の主語が About 50% of the students「生徒の約50%が」であることに注目。グラフ2より、生徒の約50%が答えた理由は to learn new things「新しいことを学ぶため」とわかる。空所の直後に them(=the students) new things と続いているので、books を主語にして「本は彼らに新しいことを教える」とする。
③ 直後でヨシオは、生徒たちに読書に興味を持たせるための計画を説明している。よって、ベスは「あなたにはそれをするための計画が何かありますか。」とたずねたと考える。

3 会話文完成問題です。前後の語句だけでなく、会話のつながりから推測して適語を入れましょう。自然な意味の流れを作ることが重要です。

【正解】① taken ② art

【全訳】

① アヤ：ああ、この写真の中のあなたはとてもうれしそうね。／ポール：うん、ぼくは家族とすばらしい時間を過ごしたよ。／アヤ：それはいつどこで撮られたの？／ポール：2週間ほど前に、京都でだよ。

② サキ：ケビン、来月には私たちは高校生になるわね。／ケビン：そうだね。どのクラブに入るつもり？／サキ：私は科学部に入るつもりよ。あなたは？／ケビン：ぼくは絵を描くのが好きだから、美術部に入るつもりだよ。

【解説】
① 主語の it は this picture を指すと考えられるので、「それ(=この写真)はいつどこで撮られましたか。」という質問と考える。「(写真を)撮る」は take。受け身の文なので過去分詞形の taken にして入れる。
② サキの How about you ? 「あなたはどうですか。」は、ケビンの What club are you going to join ? 「あなたはどのクラブに入るつもりですか。」という内容を受けたもの。直前の文でケビンは I like to draw pictures 「私は絵を描くことが好きです」と言っているので、「美術部」に入るつもりだと考え、art を入れる。

4 複数の意見を読み、それぞれの内容をまとめて問題に答える読解問題です。それぞれの意見の要点をつかみ、語形変化、語順整序、適語補充、条件英作文などの問題に答えます。

- 【正解】① spoken ② a lot of people who can speak English
 ③ (1) (例) 外国の人々と友達になる (2) (例) 異なった考え方 ④ ア
 ⑤ (例) not only English but also

【全訳】

◆Shota の意見

世界にはたくさんさんの言語があり、ぼくは外国で働くことに興味があります。日本語は日本の外では^(a)話されていません。もしぼくたちが日本語しか話さなければ、ぼくたちの活動は日本の中だけに限られます。しかし、もし英語を話すことができれば、ぼくたちは外国に行き、自分たちの考えを簡単に伝えることができます。だから、ぼくたちは英語を学ぶべきです。

◆Eri の意見

私は世界中を旅行したいと思っています、世界には⁽ⁱ⁾英語を話せるたくさんの人々がいます。だから、私は英語をもっと上手に話したいです。外国の人々と話すことは楽しいです。私は彼らと友達になり、異なるものの考え方を学びたいです。私は、それらはとても大切だと思います。英語を学ぶことによって、私たちは他の国の人々を理解することができます。

◆Masaki の意見

たくさんさんの人が英語を勉強することは大切だと思います。しかし、それで十分でしょうか。英語で外国の人々と話すとき、何について話すのでしょうか。ぼくたちは英語を学ぶべきです。それは事実です。しかし、ぼくは自分たちの国についてもたくさん勉強するべきだと思います。外国の人々と話すとき、彼らは、例えば食べ物や歴史、文化など、日本についてぼくたちに質問するでしょう。日本についてあまり知らなければ、ぼくたちは答えることができません。英語を学ぶことがぼくたちの目標ではないと、ぼくは思います。

【Green 先生の発言】

ありがとうございます、みなさん。私はあなたがたが外国語を学ぶことの大切さを理解しているとわかって、とてもうれしいです。国際感覚のある人とはどのような人でしょうか。英語を話すことが、国際感覚のある人に必要だとは思いません。他の文化を尊重し、それらの間の違いを受け入れることが大切です。みなさん、どうかそのような人になってください。

【解説】

- ① 前に be 動詞の is があり、主語が Japanese 「日本語」なので、「日本語は日本の外では話されていません。」という意味の受け身の文にする。〈be 動詞＋過去分詞〉なので、speak を過去分詞形の spoken にする。不規則変化に注意。
 ② 語群の中で主語になりそうなのは English か people だが、speak があるので English はその目的語と考えてみる。people を主語にしてその前に a lot of を置くと a lot of people 「たくさんの人々」とできる。who を主格の関係代名詞と考えて、そのあとに〈助動詞＋動詞 へ〉の形を続けて a lot of people who can speak English 「英語を話せるたくさんの人々」とする。
 ③ 直前の文の内容をまとめる。I want to make friends with them の them はさらに 1 つ前の文にある foreign people 「外国の人々」を指すと考えられる。
 ④ (え) 「私たちは外国で働くために英語を勉強するべきです。」→ショウタの意見の内容と一致する。
 (お) 「自分たちの国について勉強することは外国語を学ぶことと同じくらい大切です。」→マサキの意見の内容と一致する。
 (か) 「英語は、私たちが他の国の人々を理解したいときに役に立ちます。」→エリの意見の内容と一致する。
 ⑤ 「A だけでなく B も」は not only A but also B で表すことができる。

5 長文読解問題です。適語補充、文脈把握、語順整序、適語選択、内容説明、内容真偽で構成されています。総合的な読解力が求められます。また、本文が 500 語程度と長く、読むスピードも求められます。

- 【正解】① no ② (B) ③ I found an old woman standing by ④ ウ
 ⑤ (1) (例) してはいけないこと (2) (例) 他の人々のためにすべきこと ⑥ イ、オ

【全訳】

私たちの社会にはたくさんさんのルールやマナーがあります。ルールとマナーの違いは何でしょうか。私は、自分の意見について話そうと思います。

私はこの前の夏、シンガポールに行き、ある家族のところへ 2 週間滞在しました。ある日、ホストマザーのリンダと私は買い物に行きました。私は通りにごみがひとつもなかったのでもとても驚きました。私は彼女に「なぜシンガポールはこんなにきれいなのですか。」と言いました。彼女は「向こうの標識を見て。それには、もし私たちがこのあたりでごみを捨てたら、罰金としてたくさんのお金を払わなければならないと書いてあるわ。ⓐ シンガポールでは、みんながこのルールを守らなければならないのよ。この国のいたる所で同じ標識を見ることができるわ。」と答えました。私は「いくら払わなければならないのですか。」とたずねました。彼女は「1,000 シンガポール・ドルよ。日本円でおよそ 83,000 円よ。」と答えました。私はまた驚いて、「日本にはそのようなルールはありません。なぜ

シンガポールの人々にはこのように厳しいルールが必要なのですか。」と言いました。彼女は「たくさんの人々が外国からやって来て、ここに住んでいるわ。彼らのそれぞれが異なる習慣を持っているの。そのような場所では、たくさんさんのルールが必要なのだと、私は思うわ。」と言いました。

日本に戻ってきたあと、ルールとマナーの違いについて考える機会がありました。私が自転車で書店に行ったとき、私は店の前に自転車を止めました。私は雑誌を買って、店を出ました。ちょうどそのとき、⁽ⁱⁱ⁾私は私の自転車のそばに立っている 1 人のおばあさんに気づきました。私はおばあさんに「どうかしたのですか。」とたずねました。おばあさんは「私は目が不自由です。点字ブロックの上に何かがあるので、私は進めません。これは自転車ですか。」と言いました。私は急いで自分の自転車を別の場所に移動させました。おばあさんは私に「どうもありがとう。」と言いましたが、自分の自転車がおばあさんにとって大きな問題になっていたの、私はとても^(v)申し訳なく感じました。私は自転車を止めるときに、他の人々のことを考えるべきです。

そのあと、私はルールとマナーの違いについてよく考えました。私たちの回りには校則や交通規則のようなルールがたくさんあります。例えば、もし多くの人々が交通規則を守らなければ、交通事故がたくさん起こるでしょう。ルールは私たちにしてはいけないことを教えてくれると思います。テーブルマナーや図書館でのマナーのような、たくさんさんのマナーもあります。例えば、図書館で友達と話す必要があるとき、小さい声で話すほうがよいです。もし図書館で大きな声で話すと、回りの人々は読書を楽しむことができません。マナーは私たちに他の人々のためにすべきことを教えてくれると思います。それらはルールほど厳しくありませんが、もしマナーがよくなければ、回りの人々はいやな気分になるでしょう。

私はルールとマナーにはいくらかの違いがあると思いますが、それほど重要ではないと思います。私たちはルールとマナーには同じ目的があるということ覚えておくべきです。

【解説】

- ① 直後の because 以降に理由が述べられている。本文では there wasn't any trash 「ごみがひとつもなかった」となっているところを Sakura found と表していることから、「ごみがひとつも見つからなかった」となるように no を入れる。
 ② 補う文は「シンガポールでは、みんながこのルールを守らなければなりません。」という意味。this rule 「このルール」が指す内容は、空所(B)の前にある we have to pay a lot of money as a fine if we throw trash away around here 「もし私たちがこのあたりでごみを捨てたら、罰金としてたくさんのお金を払わなければなりません」と考えられる。よって、(B)に入れる。
 ③ standing という動詞の ing 形があるが、be 動詞がないので進行形の文ではない。よって、名詞のあとに〈動詞の ing 形＋語句 へ〉を続けて「～している…(名詞)」の文と考える。by は「～のそばに」という意味と考え、standing と my bike の間に入れて standing by my bike 「私の自転車のそばに立っている」のかたまりを作る。名詞には woman を用い、standing の前に置く。an と old は woman の前に置き、an old woman とする。残った語で I found 「私は気づいた」を作る。I found an old woman standing by my bike 「私は私の自転車のそばに立っている 1 人のおばあさんに気づきました」とする。
 ④ 空所を含む部分は「自分の自転車がおばあさんにとって大きな問題になっていたの、私はとても□感じました」という意味。自分の自転車の不注意な止め方が目の不自由なおばあさんの歩行を妨げていたことが書かれており、直後の文では I should think about other people when I park my bike. 「私は自転車を止めるときに、他の人々のことを考えるべきです。」と述べていることから、「申し訳なく思って」という意味の sorry を入れる。
 ⑤ 同じ段落で、ルールとマナーとは何かが述べられている。ルールについては 4 文目、マナーについては 8 文目で、それぞれまとめられている。
 ⑥ ア (訳) サクラはこの前の夏、家族と一緒にシンガポールに 1 週間滞在しました。
 →本文 3 行目参照。家族で行ったかどうかについては触れられておらず、また、滞在したのは 1 週間ではなく 2 週間なので、本文の内容と合わない。
 イ (訳) サクラのホストマザーはサクラに、シンガポールにはごみに関する厳しいルールがあると話しました。
 →本文 3～10 行目の内容と合う。
 ウ (訳) サクラがシンガポールに滞在していたとき、1 シンガポール・ドルは日本円で 830 円でした。
 →本文 8～9 行目参照。サクラがシンガポールにいたとき、1,000 シンガポール・ドルは 83,000 円だった。よって、1 シンガポール・ドルは 83 円だったとわかるので、本文の内容と合わない。
 エ (訳) サクラは本屋に行って、ルールとマナーについての本を買いました。
 →本文 14～15 行目参照。サクラは本屋で雑誌を買ったとわかるので、本文の内容と合わない。
 オ (訳) サクラは、ルールとマナーは異なっているけれど、目的は同じだと思っています。
 →本文最終段落の内容と合う。